

英語科海外ホームステイ研修 10 日目の報告をお送りいたします。

本日は久しぶりに全員が集合しての小学校及び隣接する老人施設（デイケアセンター）の訪問です。Park Ridge の生徒たちを乗せたバスが Corinda に着くと、歓声があがり再開を喜ぶ生徒たち。バスでの移動中お互いのホストスクールの情報を熱心に語り情報共有をすること 30 分、St Dymphna 小学校に到着いたしました。こちらの学校は生徒たちが通う州立の学校とは違い、カトリック系の小学校でまた雰囲気少し異なります。授業で日本語教育も行われており、校内に入る前、代表児童 2 名から日本語で歓迎の言葉をいただきました。校内ですれ違う生徒たちからも「こんにちは！」と日本語でたくさん話しかけられ、児童たちの人懐っこい笑顔に郡校生も笑顔で答えます。そしてまず校内見学となったのですが、郡校生 10 名に対し児童 3 名がついてくれて校内を見てまわります。さすがにここでは年頃の小学生たちの案内なので、現地児童も恥ずかしがりながら、お互いに距離感が微妙にありながらの見学となりました。校内見学後はちょうど校内で行われていたタレントショー（一芸大会）にチアダンス部 4 人が飛び入り参加しました。4 人であわせるのは即興だったのですが、ぴたりとあったパフォーマンスに大きな歓声が上がリ、終了後に駆け寄ってきて「Amazing!」と声をかける小学生たち、急な参加でしたが、堂々とやりきったのは本当に立派で、これを見ていた他生徒たちにも刺激となったものと思います。

そして短い時間ですがお昼休みとなり、この自由時間には児童たちとの交流も積極的に行っている様子がみられ、生徒たちの成長を感じることができました。その後はプレゼンテーションで、隣接する老人施設での発表と、この小学校の日本語教室での発表を 2 グループに分かれ実施いたしました。それぞれに少しずつ内容を変えながら、練習してきた発表を行います。最初に老人施設で発表を行った Corinda グループに同行しましたが、なかなか老人たちの反応が見えず心配となる場面もありましたが、徐々に生徒たちの発表に反応を示す参列者たち、クイズでは大きなアクションが目立つようになり、最後の校歌⇒国歌の斉唱、そしてダンスの披露で大変に盛り上がり終了となりました。Corinda の生徒たちは初めての発表本番で、やはりかなり緊張をしていましたが、ここでの発表が自信につながり、この後の小学生向けのプレゼンテーションではもっと落ち着いた様子で、笑顔があふれた発表となりました。少しのきっかけで変われることを生徒たち自身実感したものと思います。残り日数が僅かとなってきましたが、まだまだこちらで少なからずチャンスがあります。そのチャンスを逃さずに一步を踏み出し、さらに多くのきっかけ・気づきを持って日本に帰れるよう行動をしてほしいと思います。以上、本日のご報告とさせていただきます。

■タレントショーへ飛び入り参加



■学校見学、そして児童との交流の様子





■ プレゼンテーションの様子

